

現庁舎



【H29.9月本会議 答弁】

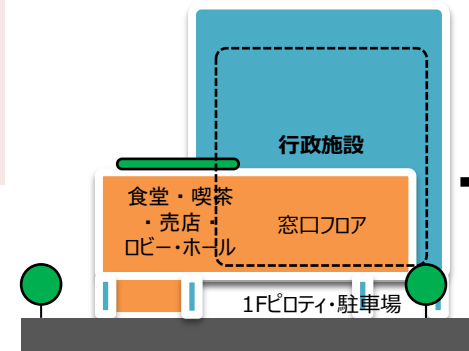
新庁舎の構成、規模の考え方

- ①本庁組織は、原則として静岡庁舎に集約配置する。
- ②区役所のほか、事務所等の配置を検討する。
- ③国際海洋文化都市実現のための組織を配置する。

・市の施設の有効活用を考えていく



【清水庁舎】
最大14,000㎡(市整備分)



【余剰敷地の活用による
収益スペース】

〔合築・貸付又は別棟〕

(例示)

- 他の行政機関
- 中心市街地に不足する生活機能の民間施設の誘致

■庁舎面積 21,069.38㎡ (議会機能面積を除く)
(全体面積 23,345.77㎡)



■庁舎面積 最大14,000㎡(34%減)

今後、フリーアドレス制の導入や文書の電子化、サテライトオフィスの設置、テレワークの導入などの働き方の見直しを検討することにより、省スペース化を図っていく。



■職員数 960人

■職員数 600人～650人程度

【敷地面積等】

- 敷地面積 7,761.51 ㎡
- 建物面積 4,036.24 ㎡
- 庁舎面積 23,345.77 ㎡ (うち議会機能2,276.39㎡)

【構造規模】

- 鉄骨鉄筋コンクリート造
- 地下2F・地上9F (PH2F)

【人員(非常勤・関係団体等を含む)】960人程度

- 区役所 260人程度
- 事務所等 250人程度
(市税事務所等)
- 本庁組織 450人程度
(経済局、教育局、子ども未来局)

【庁舎面積】

- 庁舎面積 最大14,000㎡
- ピロティ部分 最大 2,000㎡

【見込人員(非常勤・関係団体等を含む)】600人～650人程度

- 区役所 260人程度
- 事務所等 250人程度
- 清水の港を活かしたまちづくりを進める組織(検討中)
- 本庁組織移転に伴い設置する事務所
- 柔軟な組織改編に対応

100人～
150人程度

【庁舎面積の算定】

- 執務室等 600人～650人程度 × 21.9㎡/人 = 13,140～14,235㎡程 ※1・2

※1 食堂、喫茶、売店、会議室、書庫及び人と人がつながる役割を備えたロビー・ホールを含む。

※2 21.9㎡/人は最大面積を計算するために、総務省基準を基に算出した一人当たりの標準面積。